

平成26年度 香川県地域産業人材創出支援事業

香川県内大学・高専連携人材育成システム

21世紀源内ものづくり塾

26年度 入塾式・修了発表会

日時

平成26年5月20日[火]
15:00~18:30

場所

サンメッセ香川
2Fサンメッセホール



主催 : 香川大学、香川県
共催 : 徳島文理大学、香川高等専門学校、香川県立保健医療大学

ご挨拶

香川大学は、平成20年10月、「21世紀源内ものづくり塾（以下、源内塾）」を開設しましたが、25年度からは香川県産業成長戦略の産業人材創出支援事業として、再出発しています。

この度、24年度に入塾した第5期生が2年間の受講課程を修了し、一方、26年度として第7期生を迎えることになりましたので、入塾式と修了発表会を併せて行います。

源内塾は、香川におけるものづくり企業の明日を担う人材を育成するため、単に技術がわかるだけでなく、マーケティングやビジネスプラン等経営マインドも養成する実践的なプログラムにより、「売れるものづくり」が企画・開発できる若手リーダーを育成します。

25年度以降、従来の先端分野の開発部門だけでなく、次代の経営を担う人材（ものづくり分野、ベンチャーを含む）、イノベーションの原動力となる人材、健康関連製品の開発を目指す人材（文部科学省、地域イノベーション戦略支援プログラム「かがわ健康関連製品開発地域」）など香川のものづくり企業全般に対象を拡大しています。

このため、育成する体制について、「地域で必要な人材は、自前で育成する」を基本に、香川大学を中心に、香川高等専門学校、徳島文理大学、香川県立保健医療大学といった香川県内の自然科学系の大学と高専が連携し、香川の知の総力を結集して育成に当たっています。

育成システムとしては、従来の「座学」、「課題研究」、「技術経営」といった2年間の育成課程をベースに、「自ら学ぶ場」の提供を通じ、受講者が「教えられる」という受け身でなく、主体的に取り組むことを基本に育成します。

具体的には、座学による集合教育では、同期生による仲間作りを行い、マンツーマン方式の課題研究では、指導教員との面談を通じ大学の壁を取り除き、更に技術経営では、ゼミ形式のグループディスカッションを取り入れ、ビジネスプランをブラッシュアップする等多様な育成手法により、問題を発見し、それを概念化する手法を学び、そして、それを解決する能力を徹底して鍛えます。

源内塾では、このように、企業で、また地域で活躍する人材を継続的に輩出していきたいと考えています。

21世紀源内ものづくり塾

塾長

三原 豊

